

28 クロサギ

(ペリカン目)

兵庫県ランク:B

Egretta sacra

繁殖個体群:B 越冬個体群:B 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

本州、四国、九州、沖縄では留鳥。兵庫県では繁殖地周辺では周年見られる。岩場の多い海岸に生息し、岩礁周辺で魚類やカニ類などの小動物を捕食する。干潟や海岸に近い湿地にも飛来することもある。海岸の岩場や樹上に営巣する。



写真提供:長谷川淳三

国内分布

北海道、本州、佐渡、粟島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、五島列島、種子島、伊豆諸島、男女群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

(神戸市)、(姫路市)、明石市、(西宮市)、洲本市、(相生市)、豊岡市、高砂市、南あわじ市、淡路市、播磨町、香美町、(新温泉町) ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

県内では生息密度はもともと低い。瀬戸内側より日本海側で記録されることが多い。但馬海岸、家島群島、淡路島の海岸などで少数が繁殖している。



写真提供:正井憲一

保護上の留意点

本種の生息環境である海岸の保全が必要。特に重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。